

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生管理		美容学科(昼間課程) /1年	2024/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	1単位(40時間)	必須	大栗 直樹
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師として必要な公衆衛生、環境衛生、感染症に関する正しい知識を身につける ・美容師国家試験合格を目指し、学習内容を反復演習する 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験合格レベルの知識習得 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師として8年間美容室に勤務 美容師の経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
前回授業の確認テストを準備し、次回の内容に沿った予習を行う				
回	テーマ	内容		
1	公衆衛生の概要	・公衆衛生の意義と課題		
2	公衆衛生の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生発展の歴史 ・理容師、美容師と公衆衛生 		
3	公衆衛生の概要	・保健所と理容業、美容業		
4	保健	・母子保健		
5	保健	・成人、高齢者保健		
6	保健	・精神保健		
7	環境衛生	・環境衛生の概要		
8	環境衛生	・空気環境		
9	環境衛生	・衣服、住居の衛生		
10	前期復習 前期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・前期期末試験対策(復習) ・前期期末試験 		
11	環境衛生	・上、下水道と廃棄物		
12	環境衛生	・衛生害虫とネズミ		
13	環境衛生	・環境保全		
14	感染症の総論	・人と感染症(歴史、法律、分類)		

回	テ ー マ	内 容		
15	感染症の総論	・病原微生物(種類、形と大きさ)		
16	感染症の総論	・病原微生物(構造、増殖と環境への影響)		
17	感染症の総論	・感染症の予防(病原性と感受性、汚染、感染、発病)		
18	感染症の総論	・感染症の予防(常在細菌叢、免疫と予防接種)		
19	感染症の総論	・感染症の予防(感染症発生の要因、感染症予防の3原則)		
20	後期復習 後期期末試験	・後期期末試験対策(復習) ・後期期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・衛生管理 ・配布プリント		期末試験 出席率 確認テスト	80.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保健		美容学科(昼間課程) / 1年	2024 / 通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	1単位(40時間)	必須	松本 正義
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師と健康、公衆衛生との関係を理解する ・美容師に求められる人体の構造と機能を理解する 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・保健を学ぶ意味がわかる ・人体の構造と機能が、系統的に理解できる ・美容師国家試験合格レベルの知識習得 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		看護師、臨床工学技士として臨床経験を約25年従事 これまでの経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
前回授業の確認テストを準備し、次回の内容に沿った予習を行う				
回	テーマ	内容		
1	保健を学ぶにあたって 人体の構造及び機能	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ保健を学ぶのか ・人体の構造と機能を知る ・健康、公衆衛生と美容師・美容師 ・人体各部の名称 		
2	頭部、顔部、頸部の体表解剖学	<ul style="list-style-type: none"> ・頭頂部の体表解剖学 		
3	骨格器系	<ul style="list-style-type: none"> ・骨の種類と構造 ・骨の連結 		
4	骨格器系	<ul style="list-style-type: none"> ・骨格器系とそのはたらき 		
5	筋系	<ul style="list-style-type: none"> ・筋の種類と特徴 ・主な骨格筋とそのはたらき ・表情筋と表情運動 		
6	神経系	<ul style="list-style-type: none"> ・神経系の成り立ち ・中枢神経系とそのはたらき ・末梢神経系とそのはたらき 		
7	感覚器系	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚 ・聴覚 		
8	感覚器系	<ul style="list-style-type: none"> ・平衡感覚 ・味覚 		
9	感覚器系	<ul style="list-style-type: none"> ・嗅覚 ・皮膚感覚 		
10	前期期末試験 前期復習	<ul style="list-style-type: none"> ・前期期末試験 ・前期学習項目の復習とポイント整理 		
11	血液と免疫系	<ul style="list-style-type: none"> ・血液のあらまし ・免疫のあらまし ・アレルギー 		
12	循環器系	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓のあらまし ・血液循環のしくみ ・血液の循環経路 ・リンパ管系の仕組みとはたらき 		
13	呼吸器系	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸系のあらまし ・気道 ・肺のしくみとガス交換 ・呼吸運動 		
14	消化器系	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器系のあらまし ・消化管のしくみ ・消化管のはたらき ・消化管と物質代謝 		

回	テ ー マ	内 容		
15	皮膚科学 皮膚の構造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皮膚の表面 ・ 皮膚の断面 ・ 表皮 ・ 表皮と真皮の境 		
16	皮膚の構造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 真皮 ・ 皮下組織と皮下脂肪 ・ 皮膚の部位差 		
17	皮膚付属器官の構造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛 ・ 脂腺(皮脂腺) 		
18	皮膚付属器官の構造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汗腺 ・ 爪 		
19	皮膚の循環器系と神経系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皮膚の血管 ・ 皮膚のリンパ管 ・ 皮膚の神経 		
20	後期期末試験 後期復習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後期期末試験 ・ 後期学習項目の復習とポイント整理 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健 ・ 配布プリント 		期末試験 確認テスト 出席率	70.0% 20.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
化粧品化学		美容学科(昼間課程) / 1年	2024 / 通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	三谷 祐佳里
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師の業務を行う上での必要な化粧品化学の基礎知識について学習する ・化粧品化学が美容技術における基盤となることを理解する 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容の業務に必要な化粧品化学の基礎知識の習得 ・美容師国家試験合格レベルの知識習得 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師として14年間美容室に勤務 美容師の経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	化粧品総論 化粧品を使用する際に気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品とは ・化粧品の使用によるトラブル 		
2	化粧品を使用する際に気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品の定義と法規制 		
3	化粧品を使用する際に気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品の安全性と安定性 		
4	化粧品の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品の成り立ち ・水と親水性溶媒 		
5	化粧品の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・油性原料 ・界面活性剤 		
6	化粧品の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子化合物 ・色材 		
7	化粧品の成り立ち 前期復習	<ul style="list-style-type: none"> ・香料 ・前期期末試験対策 		
8	前期期末試験	<ul style="list-style-type: none"> ・前期期末試験 		
9	化粧品の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・製品を安定させる配合原料 ・その他の機能性配合原料 		
10	化粧品の成り立ち 化粧品各論	<ul style="list-style-type: none"> ・雑貨原料 ・化粧品の効果と使用プロセス 		
11	スキンケア製品	<ul style="list-style-type: none"> ・クレンジング用化粧品 		
12	スキンケア製品	<ul style="list-style-type: none"> ・コンディショニング用化粧品 		
13	スキンケア製品	<ul style="list-style-type: none"> ・トリートメント用化粧品 		
14	後期復習	<ul style="list-style-type: none"> ・後期期末試験対策(復習) 		

回	テ ー マ	内 容		
15	後期期末試験 後期期末試験解答解説	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後期期末試験 ・ 後期期末試験解答解説 		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化粧品化学 ・ 配布プリント 	期末試験 出席率 確認テスト	80.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文化論		美容学科(昼間課程) / 1年	2024 / 通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	田中 真由子
授業の概要				
・日本の文化史と世界の文化史を学び、美容師に必要な知識を身に付ける				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ヘアスタイルが独立して存在するのではなく服装等とのトータルバランスが不可欠であり時代の波の中でどのように変換して来たかを学ぶことで時代とファッションのかかわりを知る ファッションの造形、色彩の原理などを学び感性を高め来るべき時代の要請にこたえられるデザイナーになる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師として5年間美容室に勤務 美容師の経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
国家試験課題を理解するために、習った技術を内容に沿って予習しておく				
回	テーマ		内容	
1	総論 日本の美容業の歴史		<ul style="list-style-type: none"> 総論 理容業・美容業の登場 	
2	日本の美容業の歴史 ファッション文化史 日本編		<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代の理容業・美容業・近代の理容業・美容業 現代の理容業美容業・縄文・弥生・古墳時代 	
3	ファッション文化史 日本編		<ul style="list-style-type: none"> 中世(平安時代末期・鎌倉・室町・戦国時代)・近世(戦国時代末期・安土桃山時代)・近世(江戸時代) 	
4	ファッション文化史 日本編		<ul style="list-style-type: none"> 近代・現代(明治時代) 	
5	ファッション文化史 日本編		<ul style="list-style-type: none"> 近代・現代(大正時代) 	
6~7	ファッション文化史 日本編		<ul style="list-style-type: none"> 現代(1945年代~1950年代) 	
8	前期期末試験		<ul style="list-style-type: none"> 前期期末試験 解答解説 	
9	ファッション文化史 日本編		<ul style="list-style-type: none"> 近代・現代(1960年代~1970年代) 	
10	ファッション文化史 日本編		<ul style="list-style-type: none"> 近代・現代(1980年代~1990年代) 	
11	ファッション文化史 日本編		<ul style="list-style-type: none"> 近代・現代(2000年代~2010年代) 	
12	ファッション文化史 日本編		<ul style="list-style-type: none"> 近代・現代のまとめ 	
13	ファッション文化史 西洋編		<ul style="list-style-type: none"> 古代エジプト・古代ギリシャ・ローマ 古代ゲルマン・中世ヨーロッパ・近世(16世紀) 	
14	ファッション文化史 西洋編		<ul style="list-style-type: none"> 近世(17世紀)・近世(18世紀)・近代(18世紀末~19世紀初め)・近代(19世紀) 	
15	後期期末試験		<ul style="list-style-type: none"> 後期期末試験 解答解説 	

回	テーマ 教科書・教材	内容		
		評価基準	評価率	その他
文化論		期末試験 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論		美容学科(昼間課程) / 1年	2024 / 通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	三谷 祐佳里
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師として必要な基礎知識を身につける ・美容師国家試験合格を目指し、学習内容を反復演習する 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験合格レベルの知識習得 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師として14年間美容室に勤務 美容師の経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
前回授業の確認テストを準備し、次回の内容に沿った予習を行う				
回	テーマ	内容		
1	授業概要 美容技術理論を学ぶにあたって	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次で学習する授業の概要説明 ・美容理論と美容技術 		
2	美容技術理論を学ぶにあたって	<ul style="list-style-type: none"> ・美容技術における作業姿勢 ・美容技術に必要な人体各部の名称 		
3	美容用具	<ul style="list-style-type: none"> ・美容技術における用具 ・コーム・ブラシ・シザーズ 		
4	美容用具	<ul style="list-style-type: none"> ・レザー ・ピン類、ヘアクリップ ・ロッド ・ローラー 		
5	美容用具	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアアイロン ・ヘアドライヤー ・ヘアスチーマー ・遠赤外線機 		
6	確認テスト シャンプーイング	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト ・シャンプーイング総論 ・サイドシャンプー 		
7	シャンプーイング	<ul style="list-style-type: none"> ・バックシャンプー ・リンス・コンディショナー・トリートメント 		
8	シャンプーイング	<ul style="list-style-type: none"> ・スカルプトリートメント ・ヘッドスパ 		
9~ 10	確認テスト ヘアデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト ・美容とデザイン 		
11	ヘアカッティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアカッティングとは ・シザーとレザーの扱い方 ・美容刃物 		
12	ヘアカッティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアカッティングの正しい姿勢 ・ブロッキング 		
13	ヘアカッティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアカッティングの基礎理論 ・ベーシックなカット技法 		
14	ヘアカッティング	<ul style="list-style-type: none"> ・シザーによるカット技法 ・レザーによるカット技法 		
15	確認テスト 前期復習	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト ・前期期末試験対策(復習) 		

回	テ ー マ	内 容		
16	前期期末試験	・ 前期期末試験		
17	パーマメントウェービング	・ パーマメントウェーブの理論 ・ パーマ剤の分類		
18	パーマメントウェービング	・ パーマ剤に関する注意事項 ・ パーマメントウェーブ技術		
19	パーマメントウェービング	・ 縮毛矯正		
20	確認テスト ヘアセッティング	・ 確認テスト ・ ヘアセッティングとは ・ ヘアパーティング		
21	ヘアセッティング	・ ヘアシェーピング ・ ヘアカーリング		
22	ヘアセッティング	・ ヘアウェービング ・ ローラーカーリング		
23	ヘアセッティング	・ ブロードライ ・ アイロンセッティング		
24	ヘアセッティング	・ バックコーミング ・ アップスタイル ・ ウィッグとヘアピース・ヘアセッティングの応用		
25	確認テスト ヘアカラーリング	・ 確認テスト ・ ヘアカラーリング概論 ・ ヘアカラーの種類と特徴		
26	ヘアカラーリング	・ 染毛のメカニズム ・ 色の基本 ・ 毛髪のレベルとアンダートーン		
27	ヘアカラーリング	・ パッチテスト ・ 酸化染毛剤の技術手順		
28	ヘアカラーリング	・ 酸性染毛料の技術手順		
29	後期復習	・ 後期期末試験対策(復習)		
30	後期期末試験	・ 後期期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ 美容技術理論1 ・ 配布プリント		期末試験 出席率 確認テスト	80.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習		美容学科(昼間課程) / 1年	2024 / 通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	210回	14単位(420時間)	必須	大栗 直樹
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師国家試験に向けての技術と理論を学習する ・美容技術の基本であるワインディング(オールパーパス)を学ぶ ・国家試験課題第二課題のオールウェーブセッティングを学ぶ 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・学内コンテスト上位入賞 ・外部コンテスト上位入賞 ・美容師国家試験合格に向けたの技術習得 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師として8年間美容室に勤務 美容師の経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
国家試験課題を理解するために、習った技術を内容に沿って予習しておく				
回	テーマ	内容		
1	美容技術の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・動機づけ ・用具の名称と使用方法 		
2	ヘアカッティング	<ul style="list-style-type: none"> ・シザーの開閉 ・ブロッキング 		
3~ 4	ヘアカッティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ワンレングスカット 		
5~ 6	ヘアカッティング	<ul style="list-style-type: none"> ・グラデーションカット 		
7~ 8	ヘアカッティング	<ul style="list-style-type: none"> ・セイムレングスカット 		
9~ 12	就活Egg(大阪)	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動意識付け 		
13~ 17	ヘアカッティング	<ul style="list-style-type: none"> ・ワインディングウィッグのカット 		
18	ワインディング	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロッキング 		
19~ 21	ワインディング	<ul style="list-style-type: none"> ・ロッドの巻き方 ・配列を理解する 		
22	リーダー任命式	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー任命式の実施 		
23~ 25	ワインディング	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロッキング ・配列を理解する 		
26~ 28	ワインディング	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な配列で全頭を巻く 		
29~ 30	ワインディング(公開授業)	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な配列で全頭を巻く ・高校生にワインディングを教える 		
31~ 40	ワインディング	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な配列で全頭を巻く ・指定タイム内に仕上がるようにする 		

回	テーマ	内容
41～ 42	特別授業①(IMS研修)	・美容師としての将来像を考える
43～ 59	ワインディング	・正確な配列で全頭を巻く ・指定タイム内に仕上がるようにする
60	全体集会	・全体集会の実施
61～ 75	ワインディング	・正確な配列で全頭を巻く ・指定タイム内に仕上がるようにする
76～ 78	オールウエーブセッティング	・オールウエーブセッティング用ウィッグの作成(カット)
79	確認テスト	・ワインディング技術の確認
80～ 83	ワインディング	・前期期末実技試験上位入賞に向けての技術確認
84～ 87	オールウエーブセッティング	・オールウエーブセッティング用ウィッグの作成(パーマ)
88	ワインディング	・前期期末実技試験上位入賞に向けての技術確認
89～ 94	前期期末試験(穴吹コンテスト)	・ワインディング実技試験
95～ 96	穴吹コンテスト表彰式	・(前期)穴吹コンテスト表彰式の実施
97	オールウエーブセッティング	・オールウエーブセッティング用ウィッグの作成(テーパー)
98～ 104	オールウエーブセッティング	・オールウエーブセッティングの課題を理解する
105～ 108	特別授業②(ヘアメイク)	・ヘアメイクの技術をプロから学ぶ
109～ 113	オールウエーブセッティング ワインディング	・オールウエーブセッティングの課題を理解する ・タイム内で作品の完成度を上げる
114～ 115	特別授業③(IMS研修)	・美容師としての将来像を考える
116～ 118	オールウエーブセッティング ワインディング	・オールウエーブセッティングの課題を理解する ・タイム内で作品の完成度を上げる
119～ 120	特別授業④(特殊メイク)	・傷メイクをプロから学ぶ
121～ 122	サロンワーク体験	・2年生からシャンプー&ブローの施術を受ける
123～ 154	オールウエーブセッティング ワインディング	・オールウエーブセッティングの課題を理解する ・タイム内で作品の完成度を上げる
155	全体集会	・全体集会の実施
156～ 161	オールウエーブセッティング ワインディング	・オールウエーブセッティングの課題を理解する ・タイム内で作品の完成度を上げる
162～ 165	特別授業⑤	・ワインディング1000本巻
166～ 189	ワインディング オールウエーブセッティング	・後期期末実技試験上位入賞に向けての技術確認 ・タイム計測

回	テ ー マ	内 容		
190～ 195	後期期末試験(穴吹コンテスト)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワインディング実技試験 ・オールウェーブ実技試験 		
196～ 197	穴吹コンテスト表彰式	<ul style="list-style-type: none"> ・(前期)穴吹コンテスト表彰式の実施 		
198～ 204	就職活動準備	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動準備(履歴書、求職票、自己PR作成) 		
205～ 206	実務実習周知会	<ul style="list-style-type: none"> ・実務実習周知会の実施 		
207～ 208	終業式	<ul style="list-style-type: none"> ・終業式の実施 		
209～ 210	実務実習報告会	<ul style="list-style-type: none"> ・実務実習報告会の実施 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・美容技術理論1 ・美容実習1 		期末試験 出席率 確認テスト	80.0% 10.0% 10.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・シザーズ取扱注 意

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サロン実務		美容学科(昼間課程) / 1年	2024 / 通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	大栗 直樹
授業の概要				
・サロンワークに必要な基礎技術や接客マナーを学習する				
授業終了時の到達目標				
・サロンワークに必要な基礎技術や接客マナーを習得				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師として8年間美容室に勤務 美容師の経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
サロンワークに必要な技術を理解するために、習った技術を内容に沿って予習しておく				
回	テーマ	内容		
1~ 2	サロンワークについて シャンプーの基礎知識	・サロンワークの基礎知識 ・サイドシャンプー技術		
3~ 8	シャンプー	・サイドシャンプー ・ヘアドライイング		
9~ 11	シャンプー スタイリング	・サイドシャンプー、バックシャンプー ・スタイリングテクニック		
12~ 15	特別授業 プロによるサロンワーク講習	・シャンプー特別授業		
16	サロンワーク実習の概要	・サロンワーク実習の概要説明		
17~ 20	サロンワーク実習に向けて	・基本手技、接客練習		
21~ 22	サロンワーク最終確認	・技術の見直し ・接客の立ち振る舞いの確認		
23~ 30	サロンワーク実習(模擬サロン運営)	・モデルによるサロン運営 ・接客を通してサービスを学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・美容実習1 ・配布プリント		実習・実技評価 出席率	80.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
メイク		美容学科(昼間課程) /1年	2024/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	阿部 友美
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケア、メイクアップの基礎知識と基本技術を学習する ・イメージに合わせたメイクアップ技術と知識を学習する 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・サロンワークにおいてお客様の求めるスキンケア技術、メイクアップ技術ができる ・UTOWAメイクアップ技術検定合格 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容部員として7年間デパートに勤務 美容部員の経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
・UTOWAメイクアップ技術検定に向けて実務内容の振り返りを行う				
回	テーマ	内容		
1	メイクアップ、メイクアップツールについて、メイクアップ概論	・メイクアップツールの名称、使用方法、お手入れ方法・顔のプロポーション、印象、目の錯覚効果		
2~6	スキンケア実習	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケアの基本知識 ・スキンケア実技 		
7~10	ベースメイク実習 ポイントメイク実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ベースメイク実技 ・ポイントメイク実技 		
11~14	ベーシックメイク実習	・ベーシックメイクトータルメイクアップ実技		
15~22	UTOWAメイクアップ技術検定対策	・ナチュラルメイク実技・キュートメイク実技・クールメイク実技		
23~24	後期期末実技試験確認テスト	・UTOWAメイクアップ技術検定確認テスト(スキンケア)		
25~26	UTOWAメイクアップ技術検定(期末試験)	・授業内検定試験実施(スキンケア)		
27~28	後期期末実技試験確認テスト	・UTOWAメイクアップ技術検定確認テスト(メイクアップ)		
29~30	UTOWAメイクアップ技術検定(期末試験)	・授業内検定試験実施(メイクアップ)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・UTOWA PROFESSIONAL		期末試験 確認テスト 出席率	70.0% 20.0% 10.0%	期末試験について …後期は検定における採点を反映させるものとする 皮膚に直接触れるもの(アルコール)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネイル		美容学科(昼間課程) / 1年	2024 / 通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	川添 たかえ
授業の概要				
ネイルに関する専門的な知識を学び、ネイル技術の基本であるケア・カラーリングの基礎テクニックとネイルアート(フラットアート)の技術を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
ネイリスト技能検定3級合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ネイリストとしてサロンワーク歴29年、ネイル講師歴26年 JNA常任本部認定講師として活動し、それらの経験を活かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
検定記述試験に向けた過去問題の答練				
回	テーマ	内容		
1	・技術概要・検定試験について ・基礎理論	・検定試験についての説明と教材の確認・ネイルの歴史 ・ネイル技術体系・爪の構造と働き		
2	・基礎理論 ・実技	・ネイルのための皮膚科学 ・道具の仕込みと使用方法		
3	・基礎理論	・小テスト ・ネイルのための生理解剖学Ⅱ		
4	・基礎理論 ・実技	・爪や皮膚の病気とトラブル・消毒法 ・基本的なテーブルセッティング		
5	・基礎理論	・化粧品学 ・色彩理論 ・プロフェッショナルリズム ・ネイルサロン環境 ・衛生基準と関連法規		
6	・基礎理論 ・実技	・ネイルカウンセリング ・テーブルセッティング ・ネイルケアの基本手順(デモンストレーション)		
7~ 8	・基礎理論	・ネイルケア手順 ・ケアの目的とポイント ・道具の使用方法と注意点		
9~ 10	・実技	・ネイルケア手順(相モデル) ・道具の使用方法確認 ・カラーリングテクニック		
11~ 12	・実技	・ケア、カラーの手順(相モデル)		
13~ 14	・ネイルアート	・フラットアートテクニック		
15~ 18	実技	・ケア、カラーリング、ネイルアート(相モデル)		
19~ 20	検定試験対策	・試験要項の説明と合格ポイント ・筆記テスト		
21~ 22	・検定試験対策 ・実技確認テスト	・3級試験内容を65分で完成させる ・合格のための実技と筆記		
23~ 30	・実技確認テスト	・3級試験内容を65分で完成させる		

回	テーマ 教科書・教材	内容		
		評価基準	評価率	その他
	JNAテクニカルシステムベーシック	実習・実技評価 確認テスト 課題 出席率	60.0% 20.0% 10.0% 10.0%	皮膚に直接ふれる もの(アルコール 類)については使用 時乾燥かぶれ注意

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
着付け		美容学科(昼間課程) / 1年	2024 / 通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	選択	田中 真由子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・着物文化を身近に感じ日本女性の感性、所作、礼儀作法を養う ・社会で即戦力になる技術を養う 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・山野流着装 初伝資格取得 ・山野流着装 中伝資格取得 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師として5年の実務経験 新しく国家資格となった美容着付師資格を保有し、その技術と知識を生かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
着付け手順を理解するために、習った技術を内容に沿って予習しておく				
回	テーマ	内容		
1	下着と小物類	<ul style="list-style-type: none"> ・動機付け ・使用小物や着物についての説明および使い方 		
2	外出着の着付け 着物、着付けの知識	<ul style="list-style-type: none"> ・着物および着付けに関して約束事や知識の説明 ・基礎知識 ・自装着付け ・展示 		
3	ゆかたの着付け 細帯の帯結び	<ul style="list-style-type: none"> ・着物とゆかたの着付けの違い ・細帯の結び方 		
4~ 6	外出着の着付けと名古屋帯	<ul style="list-style-type: none"> ・自装着付け ・名古屋帯(お太鼓)の結び方 		
7	初伝資格取得試験について説明	<ul style="list-style-type: none"> ・準備、着付け、片付けの展示 ・確認テスト、資格取得について説明 		
8~ 12	初伝資格取得試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・着付けタイム20分 ・準備、片付け、査定時の作法 		
13	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・「外出着小紋と名古屋帯の一重太鼓」の着付けおよび着付けに必要な準備、片付け(鏡なし) 		
14	初伝資格取得試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・着付けタイム20分 ・準備、片付け、査定時の作法 		
15	初伝資格取得試験	<ul style="list-style-type: none"> ・「外出着小紋と名古屋帯の一重太鼓」の着付けおよび着付けに必要な準備、片付け(鏡なし) 		
16	着物、着付けの知識	<ul style="list-style-type: none"> ・着物の格、帯の格、小物の格 ・着物知識について 		
17~ 18	留袖着付けと帯結び	<ul style="list-style-type: none"> ・年代、体型に応じてえり合わせ 帯結び・相モデルにてミセスの第一礼装留袖着付けと袋帯の二重太鼓 		
19~ 24	中伝資格取得試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・時間内(20分)に着付けできるように実習 ・着付け上での作法習得 		
25~ 26	中伝資格取得試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・時間内にミセスの第一礼装 ・「留袖着付けと袋帯の二重太鼓」着付け、作法 		
27~ 28	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・「ミセスの第一礼装留袖着付けと袋帯の二重太鼓」を合モデルにて時間内(20分)着付け 		

回	テ ー マ	内 容		
29～ 30	中伝資格取得試験 1年間のまとめ	・「ミセスの第一礼装留袖着付けと袋帯の二重太鼓」を合モデルにて時間内(20分)着付け		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・山野流着装教室初伝教本		確認テスト 資格試験 授業態度 出席率	40.0% 40.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ヘアアレンジ		美容学科(昼間課程) /1年	2024/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	選択	三谷 祐佳里
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ヘアアレンジの基礎知識を学習する サロンワークに使える実践的な技術を学習する 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ヘアアレンジの基礎知識、基礎技術の取得 和装と洋装のシーン別アレンジスタイルを制作できる 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師として14年の実務経験 美容師としての経験を活かし、実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
サロンワーク実務を理解するために、習った技術を内容に沿って予習しておく				
回	テーマ	内容		
1	使用道具の基礎知識 ヘアアレンジの基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> 道具の名称と役割について 三つ編み、編み込み 		
2	ヘアアレンジの基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> 三つ編み、四つ編み、ロープ編み、フィッシュボーン 表編み、裏編み 		
3	メンズメイク	<ul style="list-style-type: none"> メンズメイク(ビューティコーディネーター2年生コラボ) 		
4~5	ドライヤー、ヘアアイロン、ホットカーラーの使用法	<ul style="list-style-type: none"> 熱器具の基本的使用方法の理解 		
6~8	面の出し方	<ul style="list-style-type: none"> 一束スタイルを制作する 		
9~13	洋装スタイル制作	<ul style="list-style-type: none"> 洋装に似合う色々なスタイルを制作する 		
14~15	技術確認テストと評価	<ul style="list-style-type: none"> 確認テストを実施する 評価と振り返りを行う 		
16	基礎技術の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 編み込み、面出し等の基礎技術を再確認する 		
17~19	サロンスタイル	<ul style="list-style-type: none"> サロンスタイルを学ぶ ビューティコーディネーター学科コラボ練習 		
20	和装ヘアスタイル作成	<ul style="list-style-type: none"> 和装に似合うヘアアレンジを決め作成する 		
21	人頭洋装ヘアアレンジ作成	<ul style="list-style-type: none"> 人頭それぞれに似合わせたヘアアレンジをする 		
22~28	和装ヘアスタイル作成	<ul style="list-style-type: none"> 和装に似合うヘアアレンジを決め作成する 		
29~30	技術確認テストと評価	<ul style="list-style-type: none"> 確認テストを実施する 評価と振り返りを行う 		

回	テーマ	内容		
		評価基準	評価率	その他
	教科書・教材			
	・編込み入門(新井唯夫) ・はじめてのセット&アップ(新井唯夫)	確認テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座		美容学科(昼間課程) /1年	2024/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	猪塚 隆一
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・美容師としてだけでなく、いち社会人としての心構えと接客マナーを兼ね備えた人材となるため、基本的なマナーを学ぶ ・サービス接客検定3級を取得する 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての心構えを持つ ・美容師としての感じのよい接客ができる ・サービス接客検定3級合格 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		ホテルマンとして7年間県内ホテルに勤務 ホテルマンの経験を生かし実務に沿った教育を行う		
時間外に必要な学修				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業資料を参考に、次回の予習をしておく 				
回	テーマ	内容		
1	動機付け マナーの必要性 好ましい身だしなみ 感じのよい表情	<ul style="list-style-type: none"> ・目指すのは感じのいいひと ・身だしなみの4要素 笑顔の効果 		
2	さわやかな返事 基本的なあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・指示や命令の受け方 ・基本的なあいさつ(お辞儀の仕方) 		
3~4	ことばづかい	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語(丁寧語、尊敬語、謙譲語) ・実践的な敬語練習問題 		
5~6	電話対応の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・電話の特徴 ・電話の受け方、かけ方(ロールプレイング) 		
7~8	来客対応	<ul style="list-style-type: none"> ・名刺交換の仕方 案内の仕方 お茶の出し方 		
9	贈答のマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・贈答の種類とマナー 		
10	サービス接客検定対策①	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス接客検定解答のポイント 		
11~14	サービス接客検定対策②	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス接客検定過去問題 		
15	期末試験 サービス接客検定直前対策	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス接客検定前対策 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接客検定公式テキスト		確認テスト 課題・レポート 出席率	50.0% 40.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
実務実習		美容学科(昼間課程) / 1年	2024 / 後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	24回	1単位(48時間)	必須	
授業の概要				
・美容業の基礎となる挨拶、接客マナーを職場を通して実践し学習する				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・職場を知り、仕事を知り、働く人間を理解した上で自らの将来を展望する ・職業人として、「働く意味」「やりがい」「規律」「チームワーク」「マナー」を習得する 				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~24	職場体験	・接客、清掃等様々なサロン内業務を通して職場を知る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価 出席率	60.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
パーソナルカラー		美容学科(昼間課程) /1年	2024/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	上杉 康代
授業の概要				
・美容業界で活用できる色彩知識とパーソナルカラーの基礎知識と色を見分けるポイントを学ぶ				
授業終了時の到達目標				
・色彩技能パーソナルカラー検定モジュール1合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		商品開発職として通信販売会社に6年勤務 その商品開発職で培った色彩知識を生かし検定合格を目指した教育を行う		
時間外に必要な学修				
授業内容を復習することに加え配色カード演習や日々、美容やファッションを中心に色彩に興味を持つ				
回	テーマ	内容		
1	パーソナルカラー検定について 色の属性	・パーソナルカラーとは ・色の成り立ちや色相、明度、彩度、清濁を理解する		
2	色のものさし①	・PCCSとは、PCCSの色相環を作成する		
3	色のものさし②	・トーンとは、その成り立ちや各色調、感情効果を理解する		
4	色を見るための条件	・色を見るための3つの条件を理解する		
5	前期期末試験 色彩の心理効果	・前期期末試験 ・色の心理効果を理解する		
6	基本の配色法①	・色相を基準にした配色を理解する		
7	基本の配色法② 基本の配色技法	・トーンを基準にした配色を理解する ・基本の配色技法を知る		
8	フォーシーズン分類	・フォーシーズン分類を理解する		
9	パーソナルカラー診断①	・似合う色の効果を確認する		
10	パーソナルカラー診断②	・似合う色の効果を確認する		
11	パーソナルカラー診断③	・似合う色の効果を確認する		
12	過去問答練①	・過去問題を解き検定問題の傾向を知る		
13	過去問答練②	・過去問題を解き検定問題の傾向を知る		
14	後期期末試験	・後期期末試験および解説		

回	テ ー マ	内 容		
15	過去問答練③ 検定直前対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去問題を解き検定問題の傾向を知る ・ 総まとめ 		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色彩技能パーソナルカラー検定 ・ 公式テキストモジュール1 ・ 新配色カード199a 	期末試験 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トッフスタイリスト		美容学科(昼間課程) / 1年	2024 / 後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	25回	1単位(50時間)	選択	熊野 竜也
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・イメージどおりのスタイル構成、手順、テクニックを理解する ・外部コンテストに対応できる技術力を養う 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・アップスタイルの基礎技術を習得する 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師歴25年、現在サロンチーフとして活躍中 フランスでのサロン勤務、パリコレのバックステージ等の経験を生かした教育を行う		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 2	ロングアップの基礎技術を知る 基本スタイル①	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラシの使い方、ゴムの結び方 ・一束結び 		
3~ 4	基本スタイル②	<ul style="list-style-type: none"> ・編み込み 		
5~ 6	基本スタイル③	<ul style="list-style-type: none"> ・タボの作り方 		
7~ 8	基本スタイル④	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンの留め方、逆毛の立て方 ・ワンロール 		
9~ 10	基本スタイル⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・夜会巻き 		
11~ 12	基本スタイル(応用)	<ul style="list-style-type: none"> ・コテの使い方とアレンジ 		
13~ 14	基本スタイル(応用)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーフアップ、アップスタイルのアレンジ 		
15~ 16	基本スタイル(応用)	<ul style="list-style-type: none"> ・アップスタイルをくずす 		
17~ 18	確認テストに向けた準備	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン考案 		
19~ 20	確認テストに向けた準備	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作 		
21~ 22	確認テストに向けた準備	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作 		
23~ 24	確認テストに向けた準備	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作 		
25	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った作品制作 		

回	テーマ 教科書・教材	内 容		
		評価基準	評価率	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・ しんびよう ・ TOMOTOMO ・ VIDAL SASSOON WAY ・ コンテスト作品集 	確認テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アイデザイナー		美容学科(昼間課程) / 1年	2024 / 後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	25回	1単位(50時間)	選択	三谷 祐佳里
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・衛生に配慮したまつ毛エクステ装着技術を理解する ・アイデザイナーとしての接遇を学習する ・使用用具や商材の正しい使用方法や注意事項を理解する 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・まつ毛エクステを安全に装着できるまでの基礎知識を身につけることができる ・まつ毛エクステを正確にマネキンに装着・リムービングすることができる ・ABEまつ毛エクステンション技術者認定試験合格 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容師として14年の実務経験 アイデザイナーとして得た知識と技術で実務に生かせる教育を行う		
時間外に必要な学修				
装着をスムーズに行うために、習った知識と技術を内容に沿って予習しておく				
回	テーマ	内容		
1	導入 概論 まつ毛エクステとは何か	<ul style="list-style-type: none"> ・まつ毛エクステンション概論 ・まつ毛エクステの市場や美容師法の内容を確認する 		
2~ 3	まつ毛エクステンションの用具	<ul style="list-style-type: none"> ・道具・用材・材料 		
4~ 5	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・病原微生物 ・殺菌、消毒、滅菌、防腐、除菌 		
6~ 7	保健	<ul style="list-style-type: none"> ・眼に関する知識 ・皮膚に関する知識 ・まつ毛に関する知識 		
8	カウンセリング	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングの目的 ・注意と説明事項 ・カウンセリングの実際 		
9	理論の復習 まつ毛エクステンション技術	<ul style="list-style-type: none"> ・理論の復習 ・まつ毛エクステンション技術 		
10	実技	<ul style="list-style-type: none"> ・事前準備 ・テーブルセッティング 		
11	実技	<ul style="list-style-type: none"> ・かき分けとJカール装着練習 ・かき分けとCカール装着練習 		
12	実技	<ul style="list-style-type: none"> ・エクステンションの装着 		
13	実技	<ul style="list-style-type: none"> ・エクステンションのリムービング 		
14	実技	<ul style="list-style-type: none"> ・テーピング 		
15	まつ毛エクステ検定の概要説明	まつ毛エクステ検定の概要説明		
16~ 19	まつ毛エクステ検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・事前準備 ・テーピング、リムービング、装着 		
20	まつ毛エクステ検定筆記対策 まつ毛エクステ検定(筆記)	まつ毛エクステ検定筆記対策 まつ毛エクステ検定(筆記)		

回	テ ー マ	内 容		
21	まつ毛エクステ実技確認テスト	まつ毛エクステ確認テスト		
22～ 24	まつ毛エクステ検定対策	<ul style="list-style-type: none"> ・セッティング ・テーピング、リムービング、装着 		
25	まつ毛エクステ検定（実技）	<ul style="list-style-type: none"> ・セッティング ・テーピング、リムービング、装着 		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ABEtextbook ・まつ毛エクステンション 		確認テスト 出席率 授業態度	80.0% 10.0% 10.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ツイーザー、グ ルーの取扱注意 ・アルコール使用 時、火気厳禁